

2019-2020 ガバナー月信 GOVERNOR'S Monthly Letter

5



厚真町



定山溪温泉溪流鯉のぼり



小樽 勝納川



羊蹄山



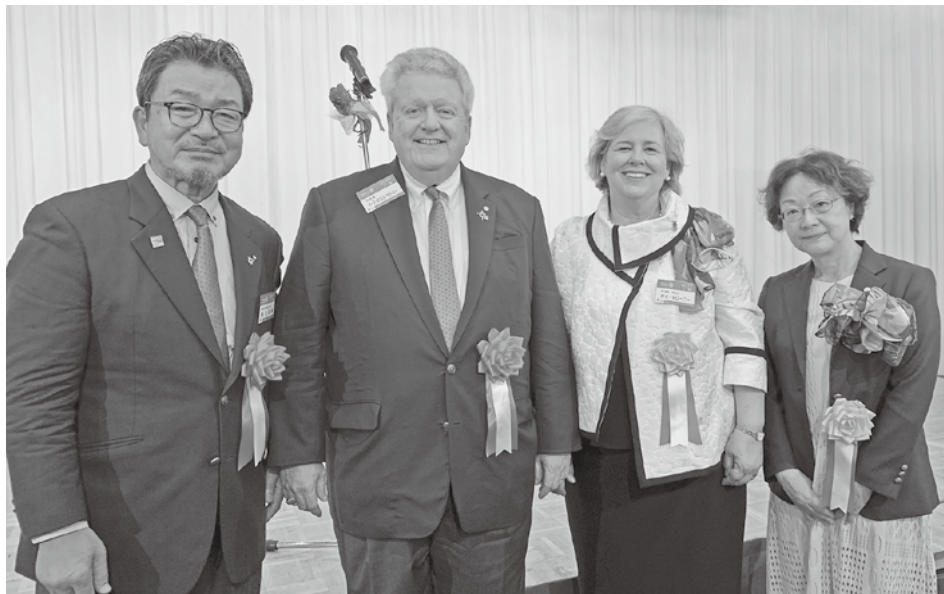
ロータリーは
世界をつなぐ

国際ロータリー第2510地区 2019～2020年度ガバナー 福田 武男

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512
E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

2019-2020年度国際ロータリーのテーマ

「ロータリーは世界をつなぐ」



国際ロータリー第2510地区 2019-2020年度地区目標

—自分を見つめ直し、若者を支援し、ロータリーの未来を語ろう—

1. みんなで手をとり合ってクラブを強化しよう

- ① 既存会員の維持と、地域の職業分類を調査・活用して更なる会員増強を推進し、クラブ会員の後継者を含めた若者たちへ向けて「ロータリー衛星クラブ」の設立を推奨し、ロータリーを成長させる。
- ② 女性会員や40歳未満の会員の入会を特に推進し、RAC全国研修会に向けてRACの拡大・増強を支援する。
- ③ ロータリー理解推進のため「ガバナー月信」を充実させ、ホームページをアップグレードし、「世界を変える行動人」キャンペーンを促進し、広報活動を推進する。

2. ロータリー財団へ寄付推進し、フルに活用しよう

- ① ロータリー財団への寄付を推進すると共に、クラブでは本年度特別に使用できる分も含めてDDFを十分に活用し、グローバル補助金も視野に地域社会および海外でのプロジェクトが増加するよう支援する。
- ② 「世界ポリオデー」には、世界のポリオ撲滅でWHOなどと共にロータリーが果たしている役割を広く地域に伝えるよう各クラブに奨励する。
- ③ 財団への年次基金とポリオプラスへの寄付を増やしつつ、恒久基金においても2025年までに20億2500万ドルへ成長するよう支援していく。

3. ローターアクターなど若者や新会員を支援しよう

- ① クラブに入会して5年以内の会員を対象に「新会員交流会」を開催し、ロータリーへの理解を深めてもらう。
- ② 米山記念奨学会への寄付の増進を図ると共に、この制度が地区内すべてのクラブにより一層理解され、また奨学生が卒業後日本との架け橋になれるように支援する。
- ③ クラブには「クラブ研修リーダー」の設置を奨励するとともに、積極的にロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) セミナーに参加してもらい、RLIセミナーがこれからの「ロータリーの学びの場」となるよう認識を広めていく。

CONTENTS

●ガバナーメッセージ	1	●2020年度 決議審議会へ『決議案』提出のお願い／ 例会場変更のお知らせ／米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付	14
●「輝く瞳に会いに行こう」	6	●ハイライトよねやま	15
●『バギオ訪問交流の旅』の延期	8	●ロータリーコーディネーターNEWS	16
●「青少年奉仕月間に因んで」	10	●地区カレンダー (5月・6月) / ロータリーレート	17
●ロータリーの本No.11	11	●出席率・会員数 (3月)	18
●米山奨学生ご紹介	12	●職業奉仕小話 / ポール・ハリス語録	19
●新会員のご紹介 / 文庫通信	13	●クラブ活動 写真集 (第2グループ 第6グループ 第7グループ 第11グループ)	

5月は青少年奉仕月間

国際ロータリー第2510地区

2019-2020年度ガバナー **福田 武男**

(千歳RC)

会長・幹事の皆さま、お元気でしょうか。例会の開催ができない日々が続いておりますが、ロータリーとして「何をすべきか」を本当に悩むところでもあります。

【新型コロナウイルスによる留学生への影響】

今月は「青少年奉仕月間」ですので、我が地区で進めている青少年関連のプログラム(ロータリー財団奨学生、青少年交換留学生)について簡単に現状をお知らせ致します。

新型コロナウイルスの世界的な蔓延により、それぞれの留学生にロータリー財団やRIJYEM(国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構)からの帰国要請が以前から出ておりましたが、我が地区では現在のところ帰国を希望している学生はおりません。

それ故、それぞれの学生においては、本人と家族の強い希望を確認した上で、プログラムを予定通り継続しております。

【COVID-19への対応に関して】

今回のCOVID-19(新型コロナウイルス感染症)の世界的な蔓延による多くの都市のロックダウンの中で、3月、4月、そして5月と、プログラムが全て中止・延期されて3ヶ月近くになります。

地区内の多くのクラブは、対応に苦慮されていると思いますので私の考え方をお伝えしておきます。

1929年世界大恐慌以来の90年振りの大惨事ですので、何をどうすればいいのか暗中模索で、誰に

とっても初めての厳しい経験であり、ロータリーはこんな時に何をすれば良いのか、たいへん悩むところでもあります。

北海道をはじめとして札幌市においても、鈴木直道知事や秋元克広市長が「ステイホーム」を呼びかけ、感染拡大阻止に大いに努力をしてくれておりましたが、ここ数日北海道では、第二波の感染拡大が起こっているということで、残念ながら他県と比較しても感染数が急激に増加してきております。

このような状況の中で、我々は今どのように振る舞えば良いのか、現在の地区としてのお願いを含めてお知らせ致します。

(1) 国法の遵守

ロータリー章典2.080. 国法の遵守

すべてのロータリークラブは、クラブが存在し活動している国の法律に従うものと、期待されている。クラブは、当該国の法律に従うべく、特定の法的要件を満たすために必要な処置をとることができる。

但し、以下を条件とする。要約すると・・・

- ① ロータリーの組織規程に反しないこと。
- ② クラブ理事会で検討すること。

従って現在、安倍晋三首相は5月31日までは緊急事態宣言を発出しておりますので、我が地区は鈴木直道北海道知事の指示に従わなければなりません。

5月11日現在のところ、「ステイホーム」が5月15日まで、全道民に対して強く要請されておま

すので、これに従って下さい。不要不急の外出はロータリアンとしても、絶対に避けて下さい。

ロータリーの例会について、北海道の緊急事態宣言が継続している間は、開催せず休会とするように強く要請致します。

そろそろ最後の「会長・幹事会」でも今回は引き継ぎですので、結構な人数で予定していると思いますが、これも書類やSNS、FAXなど文書で行なって下さい。

同じ地域の方々同士が集まるなら可能ですが、それでも5人までとして下さい。

(2) 従業員や家族の健康を第一に考える。

現実には難しいことですが、ロータリアンとしてとても大切なことです。会社が存続しなければロータリーの奉仕もないというので、会社が第一にと、これを逆に捉える方もおりますが、ロータリーでは家族、従業員、お客様の健康と安全が第一です。これが本当の職業奉仕です。

(3) ロータリークラブとしての活動

ロータリークラブとして何ができるか、じっくりと考えて実践していきましょう。クラブの会員とみんなで意見を交換しあい、地域に何が必要なのか考え皆の合意の下で実践しましょう。

- ・医療従事者への支援はできないか？
- ・学校や子供達への支援はできないか？
- ・職を失い生活もままならない栄養不足の子供達への支援はできないか？

(4) クラブを見直すこと

クラブの会員基盤にも相当な影響が出ると覚悟しなければなりません。この状況が長期に続くと、例会のあり方、回数、年会費、奉仕活動などをもう一度見直すことが必要になると思います。

- ・感染の確率を少なくするために例会数を減らすか、オンラインでできないか？
- ・経済的に苦しくなる会員を考慮して、クラブの

会費を減額できないか？

(5) クラブの意思決定

例会が開催されないので、理事会もできずクラブの決断ができないとき何かクラブで決めなければならないときは・・・FAXやメールなどで会員に審議の内容を伝えて、会員の意見を聞いて下さい。

その意見を元に、FAXやメールで理事会を開き審議し結論を出します。決定した事項を会員に知らせて下さい。

このようにすれば、理事会で実際には集まらなくてもクラブの意思決定は可能です。もちろん理事会はスカイプでもズームでも構いません。

朝の来ない夜はありませんし、トンネルには必ず出口があります。COVID-19が終息した暁には、世界中の人たちが手を取り合って喜び合える東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを信じて頑張りましょう。

世の中、「ソーシャル・ディスタンス」(社会的距離の確保)の大切さが叫ばれる中、人のつながりが如何に大切かという事を思い知らされる昨今であります。

【ロータリーの基本理念を学ぶ】

決議23-34

では先月の続きで、ロータリーのバイブルと言われている「決議23-34」を学んでいきましょう。

これを初めて目にする会員は、「決議23-34というのは何かの暗号か」と思うかも知れませんが、これは「1923年」、年次大会の中の規定審議会で採択された「34番目の決議案」という意味です。

1923年の国際大会は米国ミズーリー州のセントルイスで開催されたので、この決議を「セントルイス決議」と呼ぶこともあります。

最近の新会員が「決議23-34」を学ぼうと言えば、まずは手続要覧(2019年度版)の2P、「1. ロータリーの基本理念」の最初にある「社会奉仕に関する1923年の声明」を探し当てることになるでしょう。

タイトルの文言の中に社会奉仕とありますから、この資料はロータリーの五大奉仕部門の中において、奉仕の第3部門である社会奉仕を解説している資料だと思うのですが、ところがそうではありません。

この決議はロータリーそのものの基本理念と哲学が要約されたものであって、単に社会奉仕の指針にとどまるものではないのですが、手続要覧では長年に亘りそのタイトルに惑わされてか、社会奉仕の部門に掲載されてきました。

ここで参考までに、偉大な日本のロータリアンとして人生を生き抜いた、故佐藤千寿PGによる「決議23-34」の解説と、1923年にオークランドロータリークラブに入会し1959～60年度RI会長へと、半世紀に亘ってロータリーの変遷を自ら体験してきたハロルド・トーマスの言葉を紹介しておきたいと思います。

【参考】

『決議23-34は、社会奉仕のプロジェクト推進にあたって種々疑念論争が生じたところに端を発し、結局これに対する回答を与えるには、ロータリーの基本哲学にまで遡らねばなくなり、その結果ロータリー史上の金字塔とまで讃えられる格調高い宣言が生まれるに到ったものである。そういう次第だから、この決議は単に社会奉仕の指針となるばかりでなく、ロータリーとは何かを真剣に考える者にとって、汲めども尽きぬ思索の源泉である。』

(故RI第258地区ガバナー佐藤千寿)

【参考】

『ロータリーは成年に達した。決議23-34はロー

タリーの哲学、方針およびプログラムの性格を決定した』

『決議23-34が書き下ろされて以来、既に50年間にわたって、全世界における実際上の経験に基づく討議・討論が行われた。しかしながら、原理という観点からするロータリーの説明として、この決議の第一パラグラフをより良く書き改めることは、恐らく我々の中誰一人としてこれをよくする者はあるまいと思う。』

「ロータリーモザイク」(元RI会長ハロルドT. トーマス1974年著)

このように1923年に米国テネシー州ナッシュビルRC(ウィルR. メーニア・ジュニア)によって提案された『決議23-34』は、社会奉仕だけに焦点が当てられたものではなく、むしろロータリーとは何かということに対して深い思索の中で書き下ろされ、ついにはロータリーのバイブルとまで言われることになったドキュメントであり、先輩達が残してくれた最も大切なロータリーの遺産なのであります。

このように「決議23-34」は社会奉仕だけではないということですが、では何故、何処でこのような誤解が生じることになったのでしょうか・・・

【原因—その1】

その原因は、1927年、ロータリーに目標設定計画が採用され四大奉仕の導入がなされた時に、「決議23-34」のタイトルと前文がその時の改定内容に整合するよう改定されずにそのままにされたことが原因でしょう。

【決議23-34の採択当時】

ロータリーの規則を改定する会議というのは、1923年頃では現在の3年に一度の規定審議会ではなく、年次大会(現国際大会)の中で開催されて

いましたが、その時の最初の「タイトル」は・・・

【To reaffirm the policy of Rotary toward objective activities and to formulate certain principles for the future guidance of Rotary International and Rotary Clubs】

【綱領に基づく諸活動に対するロータリーの方針を再確認し、国際ロータリーとロータリークラブにおける今後の手引きとなる原則を定めること】



これでは余りにも「タイトル」が長すぎるというので3年後の1926年に



【1923 Statement on Community Service】

【1923年の社会奉仕活動に対する方針】

・・・と分かり易い「タイトル」に改定されました。

しかし、その頃の「社会奉仕」とは・・・

【参考】・・・決議23-34の前文から

In Rotary, community service is to encourage and foster the application of the ideal of service by every Rotarian to his personal, business and community life.

ロータリーの世界においては、Community Service (コミュニティーサービス)とは、一人一人のロータリアンがその家族的社会生活、職業的社会生活及び地域社会生活に奉仕の心を実践に移そうとすることを言う。

(故小堀憲助氏 訳)

即ち、1927年以前においては、ロータリーの活動は「クラブ内活動」と「クラブ外活動」に大きく分けられておりました。

また上記のように、ロータリーにおいて社会奉仕というのは、ロータリアンのすべてがその個人生活、事業生活、および社会生活に奉仕の理念を適

用することを奨励、育成することである、と定められておりました。



しかしながら年を重ねる毎に、徐々にロータリークラブの活動は複雑になり、それまでの「クラブ内活動」と「クラブ外活動」ではロータリークラブ活動の全てに対応することが困難になります。



そして1927年オステンド大会(ベルギー)の時にイギリスからの提案で、ロータリーに「目標設定計画」が採用され、ロータリーの活動を「四大奉仕」へ分割しよう、ということになります。

即ち、それまでのクラブ内とクラブ外から、「クラブ奉仕」、「職業奉仕」、「社会奉仕」、そして翌年「国際奉仕」と4つに分割されることになります。

それ故、その後の「社会奉仕」はそれまでの「社会奉仕」とは意味がかなり異なり、地域社会への奉仕に限定して使われるようになるのです。



しかしながら、このドキュメントの「タイトル」などは四大奉仕採用に合わせて改定されることなく、現在もそのまま使用されております。

ロータリーの活動が四大奉仕に分割された時に、後々齟齬が生じないよう、「タイトルと前文」を改定すればよかったのでしょうか。

【原因—その2】

また、ロータリーが少々理解し難くなってきている原因のもう一つに、ロータリーの様々な資料の改定、削除の繰り返しなどがあると思います。

この「決議23-34」も、実は1984年の手続要覧から一度突然、削除されたという経緯があります。

この決議は本来・・・

- ① ロータリーの奉仕理念
- ② ロータリークラブの役割

- ③ 国際ロータリーの役割
- ④ ロータリーは実践哲学
- ⑤ ロータリークラブの自主権
- ⑥ クラブの社会奉仕実践における指針

・・・などロータリー活動全体が解説されています。

また国際ロータリーの権限を厳しく制約しており、ロータリーの活動はあくまでも個人奉仕が基本であり、安易に団体奉仕を行なってはならないことなどから、国際ロータリーがポリオ・プラスなどの団体奉仕を開始していく中で、国際ロータリーにとっては長年、目の上の瘤だったのでしょう。

手続要覧は、組織規程(ロータリーの憲法)でないならば、RI理事会の裁量で自由に改定することができるのですが、この1984年の削除に関しては、多くのクラブからの反対にあって、1986年には「決議23-34」は復活することになります。

そしてこの「決議23-34」はその後、国際ロータリーによって何度も削除されそうになりますが、最終的には歴史的な文献として残されることとなります。その後、更に2010年、第2500地区釧路北ロータリークラブが提案した『決議10-182』が採択されたことにより、今後ともこの「決議23-34」のドキュメントは、手続要覧の最初の「ロータリーの基本理念」のところに未来永劫(?)に残されることとなり、日本を含むロータリーを愛する多くのロータリアンはたいへん安堵したものと思います。

【参考】

RI第2500地区 釧路北ロータリークラブ提案

《決議10-182》

「社会奉仕に関する1923年の声明」の第1項を、奉仕哲学の定義として使用することを検討するようRI理事会に要請する件」

【趣旨および効果】

1. ロータリーの哲学理念の一つとして社会奉仕に

関心と支援を寄せて下さった釧路北ロータリークラブ(日本、北海道)および第2500地区に対し、感謝の意を表する。

2. 「社会奉仕に関する1923年の声明」に定義される奉仕の哲学は、現在、「手続要覧」と「ロータリー章典」に含まれていることを指摘する。

ポール・ハリスは『ロータリーは時代の変化と共に変わって行かなければならない。時には革命的に変わって行かなければならない』と、言っていますが、会員がついていけないかも？ 少々変わり過ぎかも？

長年に亘って国際ロータリーやロータリークラブの悲願は『会員増強』であります。会員であるロータリアン自身が・・・

「ロータリーを本当に楽しんでいること、

「ロータリー活動に大きな魅力を感じ、自分の成長につながる」

・・・といったことを心から感じなければ、会員増強は困難であります。

新会員が、

「入ってみたけどそんなに面白くない、

「ロータリーはどういうものだから誰も教えてくれない」

・・・では、友達を自分のクラブに推薦できますか？ 入っている会員が何らかの具体的なメリットを感じるから、ロータリアンでいるのだと思います。メリットを感じないのに、友達を誘えますか、無理でしょう。

今回は、「決議23-34」が何故、ロータリアンにとってバイブルなのか、という点について学んでいきたいと思っております。



「輝く瞳に会いに行こう」

RID3360地区チェンライRC元会長

タイ国立ダムロン高校ボランティア日本語教師 **原田 義之**

私は現在タイ国立高校でボランティア日本語教師の傍ら週末にはミャンマー、ラオス、タイ国境沿いのアカ族子供寮生156人に「識字向上と給食支援」をしています。また第3360地区チェンライロータリークラブに7年前に日本のロータリークラブから移籍し、2013年-14年度には同クラブ第47代会長を務めました。タイ国ロータリーの歴史の中で日本在住、日本人会長は史上初です。

当2510地区と私が関わったのは4年前、第7グループIM(当時、坂井第7グループガバナー補佐)で記念講演をしたことが始まりです。講演を聞かれた福田武男ガバナーは以来6年間、私が識字支援するアカ族子供・ニラポーンさんの里親を引き受けています。彼女は福田ガバナーのご支援が無ければ、低識字の厳しい人生を歩んでいたかも知れません。彼女は今専門学校で看護を学んでいます。

ご縁は更に続きました。福田ガバナーからの紹介で、今年度当地区第6グループIM(現、笈川ガバナー補佐(小樽銭函RC))で、4月23日に記念講演が予定されておりました。しかし新型コロナウイルス蔓延から皆様とご家族の健康を守る観点から、幻の講演となってしまいました。そこで当紙面をお借りして、12年間に及ぶ「I SERVE」の奉仕精神で続ける「北タイ・アカ族子供に識字向上支援」のお話を続けます。

さて25年前、我が社のコスト削減の為、タイ国バンコクに工場進出をしました。当時私は日本のクラブに入会5年目で幹事役後、国際奉仕委員長でした。滞在ホテルで北タイ・チェンライの小学生がバンコクのNPOから図書寄贈を受けている報道をテレビで見ました。子供の着る衣装はぼろ服で半数は裸足でした。それとは裏腹に、図書を受ける子供の瞳は輝いていました。私は直ぐに図書支援を始めました。貧乏でも裸足でもいい、その輝く瞳で図書を読み文学を、知識を、科学を、世界を知って欲しいとの思いがあり、以来15年間北タイ36小学校に図書寄贈をしました。

その後新たに山岳民族の子供が通う15の小学校に図書を寄贈し、その贈呈式でアカ族青年アリヤさんと出会いました。彼は識字率の低いアカ族の子供が低賃金であること、又識字ゼロの父親は高収入を目当てに、無知な娘を都会の怪しげな仕事に渡し、その娘の幾ばくかは若くしてエイズを身に患い北タイの母元に戻る実態を話し子供たちに識字向上支援を、私に懇願したのです。

当時64歳の私は既に子育ても終え、妻との生活の糧も蓄えました。それを機にわが身を北タイに移しアカ族の子供に識字向上支援の「奉仕人生」に生きると決意しました。その支援は国際ロータリーの重点項目「基礎的教育と識字率向上」に合致しま



す。私は早速、夜はタイ語教室に通い、昼は「外国人向け日本語講師講座」に通い資格を取得しました。アカ族子供寮のある最前線の町・チェンライのダムロン高校日本語科でボランティア教師を志願し、以来12年間無報酬で教壇に立っています。

さてアカ族はタイ国籍ですが常用語はアカ語です。回遊民族で母国語のタイ語が出来ません。しかし若者はタイ社会に生きなければなりません。学校のある村まで20キロあり、移動手段がありません。村のアカ族子供寮に寄宿して学びますが貧困な子供には無理です。そこで私は就学支援を重ね、今では156人の子供に給食支援をしています。又日本のロータリアンに里親になって頂き、私と出会わなかったら識字ゼロの人生を送ったであろう極貧アカ族子供36人を助けます。

又北タイで生きるのに必須なのが浄水施設です。その支援も12年間で学校、村そして子供寮35ヶ所に設置支援を行いました。雨水を飲んで体を壊すことの繰り返しから「蛇口を捻れば飲める水」の、現地目線の奉仕で同民族数千人を助めました。

時に私はこんな質問を受けます。「タイ政府が、タイ人がなぜ助けられないのか」と。私は今、現地で奉仕の蛇口を貧困の上に向けています。その蛇口の下で貧困が声を上げ支援を待ちます。一ロータリアン、一日本人としての私の使命は「I SERVE」の奉仕精神で、一滴でも多く支援を届けることと心得ます。「誰かが支援を」は問題を解決しません。

平和阻害要因は格差と差別です。同胞が住むアジアには日本の格差が格差でない、差別が差別でない程の格差と差別があります。子供たちは格差と差別に生き麻薬、売春、エイズのキャリア等の「悪の予備軍」にさせてはならぬとの強い思いは私を再び北タイに入り、目の前のアカ族子供支援に駆り立てます。

私76歳、幸い30年前にロータリーと出会い、奉仕の大切さ、奉仕の素晴らしさを知りました。これからも一日本人として、一ロータリアンとして北タイ貧困最前線に我が身を置き、微力ながら「他人のために」役立つ所存です。





『バギオ訪問交流の旅』の延期

一般財団法人比国育英会バギオ基金
理事 矢橋 潤一郎
(札幌東RC)

2020年3月12日(木)から15日(日)にかけて、41回目となる一般財団法人比国育英会バギオ基金による「バギオ訪問交流の旅」が挙行される筈でした。

毎年2月11日(建国記念の日)に合わせてフィリピンに入り、マニラから陸路なら7時間かけてバギオへ、奨学金や学用品を届けに向かいます。この日程は、札幌では雪まつりの期間で地元でのイベント出店に関わり、道外からの来客の案内などを抱えているなど札幌を離れるのは難しい時期です。今年に限ってひと月遅いのは、2月12日(水)・13日(木)に、沖縄で第2580地区の地区大会、第2750地区は、同じく2月24日(月・天皇誕生日の振替休日)・25日(火)、都内で地区大会を予定されていました。

バギオ基金が1981年に設立される機運は元々、東京2地区のロータリアンによる活動に端を発したのは、ガバナー月信2018年12月号に既出の通りです。2009年、バギオ基金が一般財団法人格を取得してからもしくは、理事役員は在京ロータリアンで構成してきました。長らく「バギオ基金は東京のロータリアンの活動」という印象が定着してしまっただけで、このため寄付をはじめとする協力が、東京以外のロータリークラブから得られないと心配した新執行部が、地方にも理事を配置して、活動を全国に広げようと試みました。2017年に私が理事を仰せつかったのは、その一環です。地方から理事に名を連ねているのは私を含め6名、そのうち沖縄の方が3名おりますが、ご存知の通り沖縄は東京と同じ地区です。それでも私が北海道に、もう一人が四国に、いることで、PRの取っ掛かりはできたといえます。

第2510地区はもとより、道内全域、機会をいただければ道外でも基金のPRに向かいたいと目論んでいたところ、昨年11月、第2610地区小松シティロータリークラブから卓話の依頼を頂戴しました。

30年前、私がローターアクトで活動していた頃、お世話してくださった先輩が同クラブの国際奉仕委員長を務めることになり、以前からバギオ基金に関心があり、話を聞きたいとの事で、イブニングクラブの同クラブの例会には、第2610地区のガバナー補佐をはじめ、小松市内外の近隣クラブ会長など大勢の方にお越しいただきました。米山でも財団でもない奨学金について、どんなものか興味を持ってくださる方が少なからずいることがわかりました。外出自粛の今思えば昨年、小松へ行けたのはタイミングとして助かりました。

先述の通り、今年の「バギオ訪問交流の旅」は“延期”になりました。3月の出発にあたり、新型コロナウイルスが蔓延し始めた頃は、まだ楽観的なところがありました。受け入れのフィリピン側との話し合いでも、念のためひと月くらい延ばして4月30日(木)出発で日程を調整しようとの案さえ出ておりました。危険ならばツアーを取り止め、少人数でもとの期待も残しておりました。その後、6月4日(木)出発という再延期日程を模索しておりましたが、現実的ではなさそうです。4月22日(水)に東京・四谷で予定していた理事会は、諸団体が軒並み会合中止に動く中、ギリギリまで開催する前提で連絡が入っておりました。7日(火)の政府の緊急事態宣言を受けてようやく書面に切り替えられましたが、上京する側の都合をあまり考えてもらえないのは、これに限らず私の本業で関わる東京の協会・団体も皆、同様です。私と四国の方は、年3回開かれる理事会には欠かさず出席しております。平時でも、大型連休のはじめに理事会日程を組まれて、空路・宿泊に難儀することしばしばです。そんな中で理事会に臨むと、在京の理事の欠席が目立ち、会長もお怒りで出席者の我々に対して出席の意義を説いてくれるのですが、そもそも東京の方が出席しやすい日程を

敷いておいて、東京の方が欠席して、遠方の我々が文句を言われるのは筋違いと思う。新入社員の頃、こういう不条理な目によく遭ったものだと思わしいと思った。今回も理事会のために予約していた航空券のキャンセル料は、本稿執筆現在、まだ精算できておりません。

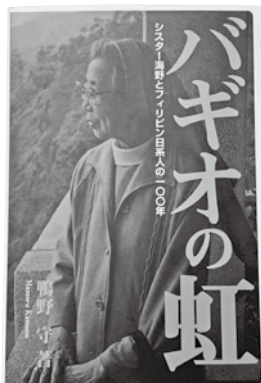
新型コロナウイルスの収束が見通せない中ですが、第42回バギオ訪問交流の旅は2021年2月11日(木・建国記念の日)～14日(日)の3泊4日を予定しております。早い収束を願っております。



【「バギオ基金」とは】

「バギオ基金」は、フィリピン・ルソン島北部山岳地帯に住む子供の育英資金を贈るために1981年に設立され、今年で38年になりますが、その発端は今から118年前あります。

ロータリーが出来る2年前の1903(明治36)年、フィリピン・ルソン島北部山岳地帯のバギオ山頂に通じる道路工事が行われた。工事は困難を極めて遅々として進まず、当時、日本人のまじめさ、勤勉さが評価されて125人の労働者がルソン島に渡った。その後、延べ2000人の日本人労働者が山肌を縫うような難工事に多くの犠牲のもと日本人の力によって全長41km、高低差1400mの「ベンゲット道路」(写真)が完成した。ベンゲット道路建設に従事した日本人労働者の多くは現地の人と結婚したりしてフィリピンにしっかり根をおろし、各地に豊かな邦人社会を形成した。



太平洋戦争終戦後のバギオには日系フィリピン人が大勢おり、日本軍に協力した事で現地住民の迫害を受け、自分が日本人であることをひた隠しに隠し、バギオ山中に逃げ込んで生活をしていました。それをバギオに赴任したシスター・テレジア海野が知り、自ら山中に分け入り一人ひとり救出、日系人も山中に住み、貧しい生活をしており、学校などはありません。彼等の一番の希望は自分たちの子供を学校に入れ、教育を受けさせたいとの希望を受け入れる育英資金として1981(昭和56)年に「バギオ基金」が創設されました。

シスター・テレジア海野の苦難に満ちた活動を、「バギオの虹～シスター海野とフィリピン日本人の100年」で紹介されています。

「青少年奉仕月間に因んで」

地区青少年奉仕委員会

委員長 山口史朗

(札幌東RC)

青少年奉仕はこれからのロータリーの奉仕の柱に

いつの時代も大人は、「近頃の若い者は」と若者に不満を漏らします。新人類だの、ゆとり世代だの、草食系だのとネーミングにも余念がなく、「私の若い時は」自慢と説教で煙たがられます。かつて私達にも若者の時代があり、同じように叩かれながら、立派?に大人になりました。いつの時代の若者にも、長所も欠点もあり、可能性と未来があります。

かつて青少年だった私達と同じ現在の青少年に、「ロータリーの心からの熱意を届ける」「夢を与えるプログラム」がロータリーの青少年奉仕だと申し上げれば、身近に感じていただけるのでしょうか。現在の青少年も、やがて社会を担う人材と成長し、世界に羽ばたきます。次の時代は間違いなく、現在の青少年がリーダーの時代です。地球と人類の未来を担う青少年の成長に、ロータリーを通して関わる事が出来るのは素晴らしい体験です。

青少年の成長は地域の皆で育むもの

世間では、青少年を取り巻く様々な問題が聞かれます。いじめ、虐待、ハラスメント等々。世間の無関心と、大人の無責任が問題の解決を難しくし、助長してるように思えます。家庭と学校だけの問題でしょうか。かつては、近所に叱ってくれる大人がいました。自分の子も他人の子も分け隔てなく、危ない

ことは危ない、悪いことは悪いと注意してくれました。青少年を育む地域のコミュニティーが存在していました。隣近所で助け合う互助のコミュニティーがありました。社会性を身に付け、奉仕にも似た共生の人の輪があったと思います。時は流れ、無関心と無責任に覆われた昨今、地域に生きるロータリーが、青少年奉仕で地域に貢献することは、意義のある事だと思えます。青少年は地域の宝です。

青少年がロータリーの未来を築く

青少年奉仕に関わって一番感じるのは、純粋さです。手を抜かない。利害や打算がない。真剣に相手を思いやり、ひたむきに奉仕する。ロータリアンに感動を与えてくれます。ロータリープログラムを経験して、ロータリー家族となった青少年は、若きリーダーとして活躍の舞台を広げることでしょう。やがて、立派なロータリアンとなり、ロータリーの未来を築くことに繋がっていきます。

現在第2510地区においては、青少年交換、RYLA、インターアクト、ローターアクトの4つの常設プログラムに加え、各クラブで独自の青少年奉仕活動を展開していただいております。感動をいただきながら、未来を想像するのは楽しいことです。青少年に対する更なる熱意と夢を、届けていただくようお願い申し上げます。



◇インターアクト年次大会



◇交換留学生歓迎会

『ロータリーの本』 No.11

『ロータリー職業奉仕事例集』と『ロータリー社会奉仕事例集』



パストガバナー前原勝樹 著
『ロータリー職業奉仕事例集』『ロータリー社会奉仕事例集』

現時点で、収束の兆しをみせないコロナ騒動。ロータリーの例会等も極めて異例な形で運営されていますが、今後経済にも大きな影響を与えていくものと思われます。多くのメンバーも本業への影響は避けられないでしょう。そのような事態に直面したなか、ロータリアン各人も改めてロータリーの職業奉仕・社会奉仕とはどうあるべきかを考えさせられる局面がくるものと思われます。そこで今回は前号で触れました前原勝樹パストガバナーの「ロータリー職業奉仕事例集」「ロータリー社会奉仕事例集」をご紹介します。

「ロータリー職業奉仕事例集」が発刊された経緯について文中より引用しますと、『ロータリー入門書』を発行したところ、意外に歓迎を受け、現在6版35,000部を頒布し、半ばテキスト的な存在にまでなりました。そこで自信(あるいは自信過剰)を得て、第二弾としてこの事例

集に取り組んだのです。」とあります。手法として、当時の各地区の役員約1600人にアンケートを依頼し、返信のあった400件を編集したものとなっています。

また「ロータリー社会奉仕事例集」について発刊の経緯について特に言及はありませんが、発刊の時期が昭和50年8月に発刊された「ロータリー職業奉仕事例集」の4か月後の昭和50年12月ですので、前述の大規模アンケートを社会奉仕について追加的に行ったと思われる。

どちらも400編弱の事例があります。内容については例えば「生涯を結核撲滅に没頭」などと時代を感じさせる内容もありますが、そのほとんどが今にも参考になる事例ばかりです。両書ともすでに絶版になってますが、ロータリー文庫からダウンロード可能です。

「ロータリー職業奉仕事例集」は
https://www.rotary-bunko.gr.jp/pdf/336/336_004-1.pdf

「ロータリー社会奉仕事例集」は
https://www.rotary-bunko.gr.jp/pdf/336/336_002-1.pdf

関心のある方は是非お読みいただければと思います。

地区文献資料室

委員長 石川 信行(札幌手稲RC)

2019-2020年度 米山奨学生ご紹介

日本での4年目

文 嘉祺 (マン カケイ)
(マレーシア)
室蘭工業大学 (室蘭 RC)

私は平成29年に来日して、今年の4月に日本での生活が4年目を迎えることとなります。これからは進路を真剣に考えなければならない時期となります。就職するか大学院に進学するか、いずれにしても私は将来、日本の企業で就職したいと思っています。その思いはロータリー米山奨学生として活動していた1年間でより強くなりました。私は毎月の例会で日頃接することが出来ない業種の方々から面白い話を聞くことができ、自分の視野が広がりながら日本の職場の文化を学びました。それに加え、室蘭RCの皆様がとても優しく接してくださって、私はこれまで多くの人の厚情に感謝して、受けた恩をまた誰か他の人に届けたいと思って、日本の社会に貢献できるような企業のために尽くしたいと考えています。

奨学金のおかげで、私はアルバイトを辞めて学業や自己成長に専念することができました。

ロータリー米山奨学生に求められる資質は「①学業」、「②異文化理解」および「③コミュニケーション能力」における熱意や優秀性にあるということを常に心がけているので、私はそれに基づいた成果を出せるように日々努力しています。

昨年、登別市で開催された「国際理解講座」で出身地であるマレーシアの文化や日本との違いなどを講

演する機会があって、日本とマレーシアの友好関係の増進に協力できたことが嬉しく思います。また、夏休みを利用して滞在費支給型海外インターンシッププログラムに参加してきました。オーストリアのオープン大学で27日間の研修を無事に終えることができました。渡航費や保険などは奨学金で払うことができたので、家族への負担はかかりませんでした。アルバイトの時間の代わりに、私は英語の勉強など自分のスキルを磨くことに集中しました。そして、今年1月に受験したTOEICで満点を獲得しました。スコア発表のとき、自分の努力が報われることと、奨学金の支援がなければ私はこれまでの成果が出せないだろうと強く感じました。

私は今年4月から研究室に配属されることとなります。希望の研究テーマは超電導の改善や開発です。電気が流れても抵抗がゼロとなるのは超電導材料の魅力で、最高な省エネ材料ともいえます。特にNMRやMRIなどの医療診断装置にとっては不可欠なパーツで、今後はその応用や普及に力を入れたいと思っています。幸いなことに、ロータリー米山奨学生としてまだ1年間務められるので、これからもロータリーとのご縁を大切にしていきたいと思っています。



文嘉祺さん



地区米山記念奨学会・学友委員会
委員長 青木 貞康(札幌はまなすRC)

新会員のご紹介

(敬称略)

第7グループ



千歳セントラルRC
中島 準二
3月31日入会
土木工事業



千歳セントラルRC
日根野達之
4月7日入会
車両販売業

文庫通信 (382号)



新型コロナウイルス感染の拡大はロータリー活動に多大な影響を与えています。ハワイでの世界大会は中止となりました。国内においても、PETSや地区大会の中止を余儀なくされました。その中で、特に「幻の講演」となったD2650地区大会RI会長代理の鳥居PDGの「RI現況報告」を掲載します。

また「緊急事態宣言」により、外出の自粛を要請され在宅時間が多くなり、ロータリーについて考える機会が与えられました。そこで今回は、115年を超えるロータリーの歴史の中で、ロータリーの奉仕哲学とその奉仕の実践に関する基本原理を簡明かつ的確に表現している「決議23-34」について、更に、国際ロータリーという組織の本質は何かを考える意味で、2019年規定審議会で事務総長に与えられた「CEO（最高経営責任者）」という名称が何を意味しているかについて、考えていただければと思います。

2020年4月 新型コロナウイルス禍の下で				
書名	著者／出版社等	発行年	頁	※
RI現況報告「ロータリーの変遷と本質」 (D2650地区大会 RI会長代理)	鳥居 滋／岡山東RC D2690PDG	[2020]	13p	※
決議23-34はロータリーのキイ・ポイントである (増補改訂版 関西ロータリー研究会)	末積 正／神戸RC D268	[1987]	125p	※
決議23-34 歴史的背景と意味 (D2680 職業奉仕講演会) (P.P.T.174枚)	刀根荘兵衛／敦賀RC D2650PDG	[2018]	17p (29p)	※
CEOとして最強の権限を与えられた事務総長 (追加資料提供：D2650PDG刀根荘兵衛)	田中 毅／尼崎西RC D2680PDG	[2020]	4p (13p)	※

・上記 ※印はデジタル化されている資料です。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

2020年度 決議審議会へ『決議案』提出のお願い

地区内ロータリークラブ会長・幹事様

毎年開催されている決議審議会へ決議案の提出を予定しているクラブは、6月30日がRI事務総長へ必着となっておりますので、出来るだけ速やかにガバナー事務所までご提出下さい。

ロータリーの憲法である「ロータリーの組織規程」(RI定款・細則、標準ロータリークラブ定款)は、3年に一度の「規定審議会」で改定されますが、その範囲外で世界のクラブや地区からの要望をRI理事会或いはロータリー財団管理委員会に提案して、審議・決定を求めるのが「決議審議会」です。審議はされても採用されるかどうかはRI理事会・管理委員会次第です。

国際ロータリーは、2016年から決議審議会をオンラインで毎年開催しております。当地区の規定審議会地区代表議員は、2019～2022年の3年任期で酒井正人PG(函館五稜郭RC)、補欠議員が安孫子建雄PGと2019年度の地区大会で決定しております。

毎年、10月15日から11月15日にかけて世界中から集められた決議案は、世界の全525地区(各1名)からなる決議審議会でもオンライン投票され、結果は11月20日に公開されます。

★2022年の規定審議会に立法案の提出を希望されているクラブは、次回の地区大会での承認、そして2020年12月末までにRI事務総長へ必着となりますので、2020年8月末までにガバナー事務所へご連絡下さい。

関係各位

岩見沢東ロータリークラブ
幹事 西 任

例会場変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より岩見沢東ロータリークラブの諸活動にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当クラブはこの度下記の通り例会場を変更しますのでご連絡致します。

なお、事務局住所、電話番号、FAX番号、メールアドレスに変更はありませんので、宜しくお願い致します。

2月4日(火)より

新例会場 岩見沢平安閣

住所 〒068-0005 北海道岩見沢市5条東2丁目

電話 0126-23-4581

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◇米山功労者

江別西RC	石黒 良平	会員 (12回)	3月 2日	札幌手稲RC	渡辺里代子	会員 (2回)	3月25日
札幌手稲RC	濱本 光一	会員 (1回)	3月25日	室蘭北RC	加藤 栄吉	会員 (1回)	3月31日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◇マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌西北RC	渡邊 葉子	会員 (3回)	3月25日
伊達RC	渡部 良一	会員 (2回)	3月 6日

◇ポール・ハリス・フェロー

伊達RC	唯木 俊克	会員	3月 6日
伊達RC	武田 和朗	会員	3月 6日
伊達RC	館崎 雄二	会員	3月 6日
伊達RC	塚田 正興	会員	3月 6日



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol. 241

2020年4月14日
発行

1. 新型コロナウイルス感染拡大の中で迎える新学年度

4月から新学年度が始まりました。

4月7日、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大を受け、7都府県に緊急事態宣言が発令されたことから、当会では翌8日付で、2020学年度の新規奨学生および継続奨学生に対し、「挨拶ならびに大切なお知らせ」として、現在の状況説明、今後守るべき諸注意事項などをホームページに掲載すると共に、各人にメールで送信しました。

例年、4月に各地区で開催される米山奨学生のオリエンテーションについては、4月13日現

在、中止が16地区、延期が11地区となってお

り、開催する場合も分散して小規模にと、“3密”を避けての実施が徹底されています。

オリエンテーションは、新しくロータリーファミリーの一員となった米山奨学生を歓迎すると同時に、米山奨学生としての責務を確認してもらう重要な機会ですが、感染拡大防止を第一にさまざまな形を工夫し、各地区、世話クラブで奨学生へのケアにご尽力ただいでおりますことに、あらためて感謝申し上げます。平時とは異なるスタートですが、新学年度の米山奨学生をどうぞよろしく願いたします。



第2770地区では窓を開放し4回に分けて開催

2. 自宅でできる奉仕活動を — タイ米山学友会 —

タイ国内において新型コロナウイルスの感染が拡大していることから、タイ米山学友会では3月27日に募金活動を開始。会員からの寄付金と学友会からの資金を合わせた50,000バーツ（約16万6千円相当）をタマサート大学病院へ送り、医療機器購入費に充ててもらったこととしました。

首都バンコクでは、3月22日から食品や生活必需品の販売以外のすべての店舗を休業させ



るなど、厳しい措置を導入して警戒を強めています。こうした状況下、同学友会では「外出しなくても出来るプロジェクト」を模索していたと言います。ワシン・テイシャシャイニラン会長（2011-12/東京清瀬RC）は、「学友会としてできることを、これからも絶対にやり遂げ

ていきます。皆で力を合わせて、この困難を乗り越えましょう」と、力強く述べました。

3. 寄付金速報 — 新型コロナウイルスの影響続く —

3月までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金：2.3%減、特別寄付金：4.5%減）、約4,500万円の減少となりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、先月よりも更に減少幅が広がる結果となりました。収束の見通しが立たない中、少なくともゴールド

ンウィーク明けまでは引き続き厳しい状態が続くと思われます。

ロータリアンの皆さまも、事業や暮らしのうえでさまざまな不便を強いられている日々と存じます。皆さまのご健康と、一日も早い事態の収束をお祈り申し上げます。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター 2020年5月号
NEWS

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

「緊急事態宣言」のもとで

COVID-19感染者の急激な増加により、4月7日に7都府県に「緊急事態宣言」が出されました。この緊急事態宣言の発動が少し遅いかも知れませんが、国民一丸となって取り組まないと終息が見えてきません。

中国から始まりヨーロッパに続いてアメリカ更には南米やアフリカと地球全域へと感染拡大です。このような状況下で、日本各地のロータリークラブ・ロータリアンは2月ないし3月から活動を自粛しており、3月・4月の例会や地区の行事も延期・中止が続いております。恐らく5月も活動再開が難しく、ハワイでの国際大会が行われなくなった事からも6月の活動も厳しい状況です。

国民の生活が一変した未曾有のパンデミック真只中で、各自の生活を守るための行動が最も大切であり、夫々の事業や家族を守る事に全力投球が続く状況下において、例会に参加してロータリー生活を楽しんでいた生活習慣がこの2月～3月から活動自粛により崩れ、ロータリーから心が離れ退会に向かう会員が出てくる可能性が多いに有ります。

各クラブの会員同士が連絡を取り合っつながりを保ちましょう、そして地域社会への奉仕する方法を探しましょう。

更にはスカイプ、Zoom、GoToMeetingなどのオンラインツールを活用して例会を開くことも可能です。各クラブでオンライン例会にもチャレンジしてつながりを保ち続けましょう。その際にはロータリーのウェブサイトで、オンライン例会を開催するためのヒントやガイダンスをご覧ください。

日常生活に追われ頭の中からロータリーが消えかかっている会員の為にも、日本中のクラブ会長さんを筆頭に多くのロータリアンが「ロータリー情報…心に留まる情報」を各会員に発信し続け、各会員に「自クラブとロータリー」を頭の中に留めさせて下さい。必ずこのCOVID-19によるパンデミックは終息し、楽しいロータリー活動が戻ってきます。

各自のロータリー活動を見直し近い将来の活動を思い描きながら、ロータリー情報を発信しつながりを保ち続けましょう！

第2地域ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一（東京葛飾東RC）

地区カレンダー（5月・6月）

5月 青少年奉仕月間	
1 (金)	
2 (土)	
3 (日)	憲法記念日
4 (月)	みどりの日
5 (火)	こどもの日
6 (水)	振替休日
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	長沼国際交流フェスティバル：中止
10 (日)	第1グループIM (羽幌)：中止
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	砂川RC創立50周年記念式典：延期
17 (日)	
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	伊達RC創立60周年記念式典：中止
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	
31 (日)	RLIセミナー (パートI)：中止

6月 ローター親睦活動月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	国際大会 (ハワイ)：中止
7 (日)	
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	地区研修・協議会：中止
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	
21 (日)	現新地区委員・ガバナー補佐引継ぎ会議：中止
22 (月)	
23 (火)	
24 (水)	恵庭RC創立50周年記念式典例会内開催予定
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	札幌手稲RC創立50周年記念式典例会内開催予定 ローターアクト地区大会 (札幌)
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	

註：新型コロナウイルス感染拡大により各種行事の開催自粛、日程変更、中止等があります。

出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2019.7.1	2020.3.31	増減	内女性	
1	深 川	0	31	32	1	1	0.00
	羽 幌	0	43	43	0	2	0.00
	妹背牛	2	6	7	1	0	85.71
	留 萌	0	29	31	2	4	0.00
	小 計		109	113	4	7	85.71
2	赤 平	1	24	22	-2	2	81.00
	芦 別	0	30	30	0	2	0.00
	砂 川	1	40	40	0	1	84.20
	滝 川	0	92	96	4	4	0.00
	小 計		186	188	2	9	82.60
3	美 唄	2	26	24	-2	0	80.04
	江 別	2	34	38	4	1	81.95
	江 別 西	0	35	36	1	4	0.00
	岩 見 沢	0	87	93	6	0	0.00
	岩見沢東	2	17	15	-2	2	76.00
	栗 沢	0	18	18	0	1	0.00
	栗 山	0	27	26	-1	5	0.00
	当 別	1	29	29	0	0	86.21
	小 計		273	279	6	13	81.05
4	札 幌	0	127	130	3	2	0.00
	札幌はまなす	0	18	16	-2	2	0.00
	札 幌 北	0	45	47	2	5	0.00
	札幌モーニング	0	31	37	6	0	0.00
	札 幌 西	0	50	51	1	10	0.00
	札幌西北	0	33	32	-1	3	0.00
	札幌手稲	0	40	37	-3	4	0.00
	小 計		344	350	6	26	0.00
5	札 幌 東	0	121	118	-3	0	0.00
	札幌清田	0	12	11	-1	3	0.00
	札幌幌南	0	56	57	1	2	0.00
	札幌真駒内	0	24	22	-2	6	0.00
	札 幌 南	0	92	90	-2	1	0.00
	札幌大通公園	1	13	13	0	3	38.46
	札幌ライラック	0	19	18	-1	7	0.00
	新 札 幌	0	29	28	-1	5	0.00
小 計		366	357	-9	27	38.46	
6	岩 内	0	20	24	4	0	0.00
	倶 知 安	1	34	34	0	3	18.20
	小 樽	0	74	77	3	6	0.00
	小 樽 南	0	64	65	1	4	0.00
	小樽銭函	0	22	23	1	1	0.00
	蘭 越	5	8	8	0	0	90.00
	余 市	0	42	42	0	4	0.00
小 計		264	273	9	18	54.10	

3 月 出 席 率 ・ 会 員 増 減 数	クラブ数	70クラブ
	期首会員数	2,584人
	当月末会員数(女性)	2,614人(177人)
	増加会員数	30人
当月平均出席率		63.16%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2019.7.1	2020.3.31	増減	内女性	
7	千 歳	1	74	77	3	11	80.70
	千歳セントラル	2	42	43	1	9	70.11
	恵 庭	0	52	47	-5	3	0.00
	北 広 島	0	15	15	0	0	0.00
	長 沼	0	17	17	0	3	0.00
	由 仁	0	8	8	0	1	0.00
小 計			208	207	-1	27	75.41
8	え り も	0	20	20	0	1	0.00
	三 石	0	12	12	0	0	0.00
	様 似	0	16	16	0	1	0.00
	静 内	1	69	71	2	4	80.00
	浦 河	0	27	29	2	3	0.00
	小 計		144	148	4	9	80.00
9	伊 達	0	63	65	2	2	0.00
	室 蘭	0	28	33	5	2	0.00
	室 蘭 東	1	35	34	-1	3	79.40
	室 蘭 北	2	49	49	0	2	66.66
	登 別	1	26	29	3	1	75.86
	洞 爺 湖	0	11	12	1	1	0.00
小 計			212	222	10	11	73.97
10	函 館	0	76	79	3	2	0.00
	函館亀田	0	37	38	1	4	0.00
	森	1	35	33	-2	0	33.00
	七 飯	3	12	14	2	0	69.00
	長 万 部	0	10	10	0	0	0.00
	函館セントラル	4	26	24	-2	2	67.31
小 計			196	198	2	8	56.44
11	江 差	2	10	11	1	1	54.54
	函館五稜郭	1	54	52	-2	0	75.93
	函 館 東	1	42	38	-4	8	67.57
	函 館 北	1	19	20	1	0	78.95
	北 斗	1	12	12	0	0	58.30
	小 計		137	133	-4	9	67.06
12	白 老	0	30	33	3	3	0.00
	苦小牧	0	60	59	-1	3	0.00
	苦小牧東	0	27	28	1	5	0.00
	苦小牧北	0	28	26	-2	2	0.00
	小 計		145	146	1	13	0.00
合 計			2,584	2,614	30	177	63.16

※例会を行ったクラブの数で出席率を算出しています

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数13名(内女性会員0名)を含む

職業奉仕小話 No.11

「二流品のスチールで・・・」

ニューヨークの機械商に、ロンドンから膨大な金額の引き合いがきた。ところが値段がどうしても折り合わない。仕方がないので、社長自らニューヨークからロンドンに出て行き交渉したけれども、どうしても自分のいう通りの値段にならない。

仕方がないから、注文主の云い値で仮調印して表へ出た。

クサクサしながら、ボンドストリートを歩いておったら、スポーツにいいような洋服生地がぶら下がっているのが目についたので、それを買って、かねて友達から、ボンドストリートに行ったら、イギリス1番という仕立屋があるから、そこへ行って仕立ててもらえと言われたのを思い出し、その店に行って「この服地で私のゴルフ服を作ってくれ」と頼んだ。そうすると、その店の主人は、メガネを取り出してうやうやしく生地を拝見していたが「お断りします」という。

「どうしていけないのだ。金はいくらでも出す」と言っても「お断りします」と言うばかり、「どうして君は断るのだ。客がこれほど頼むのに何故できないのか」と聞くと、「この生地は私のところのマークをつけて仕立てることはできません」と言う。「何を生意気なことを言うのか」というので、彼はその服地をひたたくって表に飛び出したけれども、二、三步歩いてハタと膝を打って、なるほどこれは俺の話じゃないか、と気が付いた。さっきの取引で、自分は自分の付けた値段なら、自信のあるスチールでちゃんとした機械を作って、納めることができるのに、大分値切られた。それなら二流品のスチールで作れば、勘定に合うと思って契約したけど、今の洋服屋の一言で、その機械にうちのマークを貼らなくちゃいかんということに気が付いた。そして、うちの会社が、そういう材料で機械を作って納めてもいいものかと反省し、あわてて取引相手の会社に引き返し、これこれですっきは仮契約したけれども、申し訳ないがご破算にして欲しい、私のところはもういいから、他の会社と取引してくれ、と言った。

相手はびっくりして、それはどういう訳だと言うので、今の洋服屋の話をして、自分は二番手のスチールを使って機械を作ろうと思ったんだが、今の洋服屋の話で急に良心が許さなくなったから止めたいのだ、と説明したら、イギリス人も感心して、それではと言うんで最初に申出の値段で取引が成立した。めでたし、めでたしと言うわけです。



ポール・ハリス語録 No.11

友情は、ロータリーを築く岩のように堅固な土台であり、寛容の精神は、ロータリーを結びつけるものです。もしこの寛容の精神がなければ、各ロータリークラブのあふれんばかりの原子力エネルギーで、ロータリークラブはこなごなになってしまうでしょう。

ロータリーへの私の道(My Road to Rotary)



第2グループ 芦別ロータリークラブ



第2グループ 滝川ロータリークラブ



第6グループ 倶知安ロータリークラブ



第7グループ 長沼ロータリークラブ



第7グループ 由仁ロータリークラブ



第11グループ 江差ロータリークラブ



第11グループ 函館五稜郭ロータリークラブ



第11グループ 函館東ロータリークラブ



第11グループ 函館北ロータリークラブ



第11グループ 北斗ロータリークラブ